

みんなで作る鎌倉ワークショップ  
～鎌倉の新しい拠点“ふみくら”を共に創る～  
開催レポート

## 1 日時・会場

令和5年5月27日（土）

午前の部：10時00分～12時30分／午後の部：13時30分～16時00分

※午前及び午後の部ともに同一内容で実施しました。

旧おなりこどもの家（鎌倉市御成町18-10）

## 2 参加者

鎌倉市内に在住、在勤、在学、又は、鎌倉市内で活動されているみなさん

午前の部：25名（うち見学6名）／午後の部：30名（うち見学9名）

計55名



## 3 内容

鎌倉市では現在市役所が建っている敷地に中央図書館や生涯学習、行政サービス（窓口・相談）の機能等を複合化した、市民のための新しい施設を整備することを計画しています。令和4年度に示した施設のビジョン『ひらいて むすんで 知恵うむ“ふみくら（文庫）”』の整備に向けて、市民のみなさんと対話や工作を通じて、共に考え、共に創るワークショップを開催しました。

## 4 当日の様子

### （1）ゲストによるオリエンテーション



## (2) 工作の様子



## (3) 発表・対話の様子



## 5 ワークショップから得られた意見や想い

### (1) 「世代やコミュニティを超えた人とのつながり」についての意見や想い

人との出会いやつながりが鎌倉の暮らしの魅力であるという実感があり、歴史のあるまち鎌倉で、人とのつながりから伝統や文化がつながっていき、古いものを活かしながら新しい文化を紡いでいけると良いという想いなどがありました。

### (2) 「安心できる子どもや若者の居場所」についての意見や想い

子どもたちが暮らしやすいまちになってほしいという想いが共通してありました。具体的な機能として、子どもだけで安心して遊べる場所、学生が集中して勉強できる場所、騒いでも怒られない場所、観光客との国際交流ができる場等が挙げられました。

### (3) 「新しい体験や様々な活動ができる場所」についての意見や想い

工作やアートの活動、創作、発表が出来る場所、ボール遊びができる場所、楽器を演奏できたりする場所等、新しい体験や様々な活動ができる場所があったらよいのではという意見が挙げられました。また、のんびりとリラックスできる場所や一人で時間を過ごすことができる場所等、何もしないでいられる場所へのニーズもありました。

### (4) 「まちに開かれ、まちと経済をつなぐ場所」についての意見や想い

鎌倉のまちにとって観光は重要な観点であること。また、鎌倉には個人商店がたくさんあり、それがまちの魅力にもつながっているのではないかという意見がありました。鎌倉ならではの経済のあり方やこれからは個人商店を始め小商いや中小ビジネスが盛んな魅力的なまちであってほしいという想いがありました。

## 6 アンケート結果

- ・開催後に実施したアンケートでは、『本イベントで市庁舎現在地の将来の姿を感じる（体感する）ことができましたか？』の問いに約 68%の方が「できた」と回答いただくとともに、『今後このようなイベントがあれば参加してみたいと思いますか？』の問いに約 86%の方が「思う」と回答いただくなど、市庁舎現在地の利活用について考えていただくきっかけとなりました。